

## 11. 環境研究総合推進費 (イノシシ、ニホンジカ等の適正かつ効率的な捕獲個体の処理および完全活用システムの開発)

松倉一樹

本プロジェクトは、農林技術開発センターを中核機関として、(株)一成、(独)森林総合研究所、宇都宮大学、三重県農業研究所、ハラサングョウ(株)、長崎県食品衛生協会、総合水産試験場が参画し、省力的かつ効率的なイノシシ、ニホンジカの処分、減容化、再資源化の一環体系システムの開発に取り組んでいる。

これにより、野生鳥獣の適正管理等に寄与することを目的とする。本年度、当試験場では、イノシシ捕獲個体の水産飼料原料としての有効性を検討する観点から、家畜や魚等に由来する飼料等現状の利用状況に関する情報収集等を行った。

(担当：松倉)